

舗 装

Vol.21 No.9 1986

9 月号

舗装とアメニティー特集号

舗 装 考…景観の中の舗装……………三浦 裕二 (1)

特 集…舗装とアメニティー……………(3) /

都市空間の公園と舗装 ……………石田 勝大 (4) /
—筑波研究学園都市の公園—

歩行者専用道路の舗装 ……………山本 真三 (13) 2
—多摩ニュータウンの事例を中心に—

ガーデン埠頭緑道 ……………木塚 隆夫
—名古屋市築地地区の例— ……………岩田 正光 (18) 3
……………加藤 忠博

歩車共存道路の舗装 ……………野田 和利 (22) 4
—住宅団地の例—

歩道橋と舗装 ……………藤沢 政夫
—大阪市の例— ……………中西 正昭 (26) 5
……………吉田 俊
……………井下 泰具

歩道橋と舗装 ……………中村 克巳 (30) 6
—多摩ニュータウンの例— ……………野村 敏彦

自然石を使った歩道舗装 ……………後藤 正 (39) 7
—八丈島の例—

随 想…忘 月 忘 日(119) ……………吾孺東二郎 (44)

口 絵…都市空間のアメニティー舗装

話 題…建設省所管施設間における景観整備マニュアル……………(42)

編集部便り……………(46)

舗装関連単行本一覽

舗装機械の使い方 高野 漢著

主要目次 アスファルトフィニッシャ／締固め機械／歴青材散布機械／路盤用機械／作業記録の利用／補修用機械
A 5判 226ページ 定価1,900円 送料300円

道路舗装用語の解説 松野三朗監，南雲貞夫編 内容見本

そこつざい
粗骨材
英 coarse aggregate
骨材のうち比較的粒径の大きいもの。アスファルト舗装では2.5mmふるいにとどまる骨材をいい，セメントコンクリート舗装では5mmふるいに重量で85%以上とどまる骨材をいう。

B 6判 328ページ (750語収録) 定価 3,000円

アスファルト舗装に関する試験

松野 三朗・三浦 裕二・南雲 貞夫・山之口 浩著
主要目次 総説／骨材に関する試験法／アスファルトに関する試験法／アスファルト混合物に関する試験法／路床路盤に関する試験法
A 5判 400ページ 定価 2,300円 送料 350円

舗装技術の質疑応答 (シリーズ)

主要目次 構造設計／材料／配合設計／施工／試験／品質管理と検査／特殊舗装／維持修繕
第1巻 松野 三朗・山下 弘美編
A 5判 200ページ 定価 1,500円 送料 300円
第2巻 松野 三朗・山下 弘美編
A 5判 230ページ 定価 1,800円 送料 300円
第3巻 南雲 貞夫・山之口 浩編
A 5判 294ページ 定価 2,900円 送料 350円
第4巻(上) 鈴木 道雄監，達下 文一編
A 5判 200ページ 定価 2,000円 送料 300円
第4巻(下) 鈴木 道雄監，達下 文一編
A 5判 220ページ 定価 2,200円 送料 300円

お申込みはお電話，FAXまたはハガキにて！

建設図書

舗装 9月号

Vol.21
No. 9

発行所 株式会社建設図書
〒101 東京都千代田区外神田2-2-17
発行人 高橋 功

昭和61年9月1日発行(通巻247号)
定価600円

「舗装」編集委員会 (50音順)

顧問

鈴木 道雄 建設省四国地方建設局
田中淳七郎 日本道路公団
藤原 武 (財)日本道路建設業協会
南雲 貞夫 熊谷道路(株)技術研究所
松野 三朗 佐藤道路(株)技術研究所

参与

荒牧 英城 千葉県土木部道路建設課
飯島 尚 (財)国土開発技術研究センター研究第二部
三浦 裕二 日本大学理工学部交通土木工学科
山下 弘美 日本道路(株)技術研究所
山之口 浩 日本舗道(株)関東第一支店
養王田栄一 大成道路(株)技術部

委員長

佐藤 信彦 建設省道路局国道第一課

副委員長

安崎 裕 建設省土木研究所道路部舗装研究室

委員

太田 健二 日産化学工業(株)技術部技術課
岡崎 安志 建設省都市局街路課
奥平 真誠 世紀東急工業(株)技術部技術課
川野 敏行 東亜道路工業(株)総合技術研究所
小坂 寛巳 首都高速道路公団工務部設計技術課
下田 哲也 日本舗道(株)技術開発部技術管理課
達下 文一 東京都土木技術研究所技術部
土屋 勝彦 日本道路公団試験所舗装試験室
中山 晴幸 日本大学理工学部交通土木工学科
野上 幸治 日本道路公団技術部道路技術課
野村健一郎 大成道路(株)技術研究所
服部 亮二 建設省道路局国道第二課
平田曠三郎 住宅・都市整備公団都市開発事業部事業管理課
松浦 精一 日本道路(株)技術研究所
若狭 良一 建設省道路局地方道課

編集部 便り☆ ☆…「舗装とアメニティー」特集号をお届けいたします。「話題」欄で解説されているように，建設省では所管各施設間における景観整備マニュアル(案)がとりまとめられ，またすでにキャブシステムとかシンボルロードその他のかたちで環境整備事業が早くから進められています。一方，地方公共団体，公団，公社等でもアメニティーに対する積極的な取組みが各地でなされております。☆…本誌では昨年5月号でも歩車共存道路関連の記事をまとめてお届けしましたが，「話題」欄(p.24)で「アメニティー」という用語についてふれてありますのでご参照下さい。☆…今月は巻頭の口絵を1ページ増やして4ページとし，カラー印刷としました。(I)

都市空間の公園と舗装

—筑波研究学園都市の公園—



石田 勝大*

まえがき

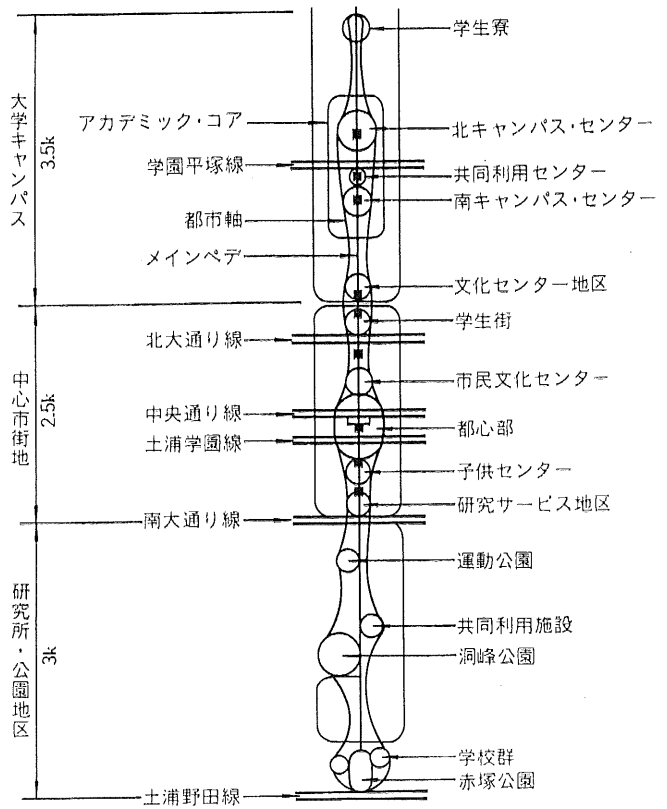
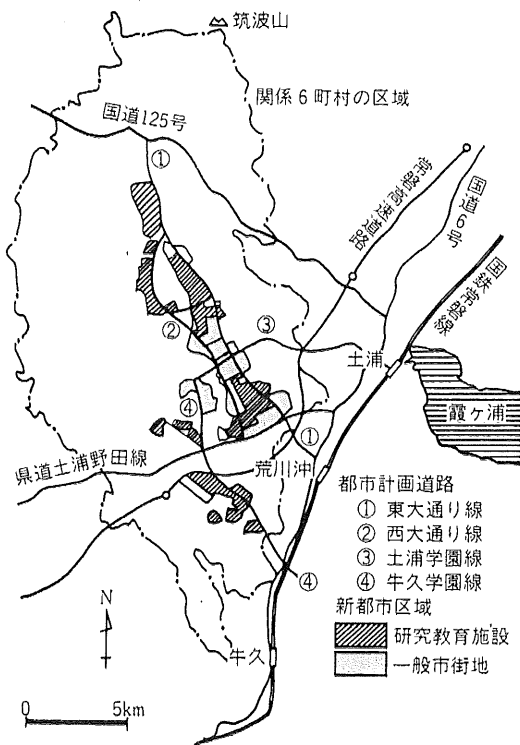
筑波研究学園都市は、昭和38年9月の閣議了解に基づき、次の2つの目的を持って建設された。

1つは、国の科学技術の振興と高等教育に対する時代の要請にこたえることである。その集積効果を生かした研究教育活動を行うにふさわしい環境をつくり出すとともに、この地域を均衡のとれた田園都市として整備することにある。

もう1つは、首都圏既成市街地の過密対策である。国の研究・教育機関を計画的に筑波に移転することにより、東京の過密を緩和し、首都圏の均衡ある発展に寄与することである（図-1）。

1. 都市軸構想と公園緑地計画の概要

新都市は人口規模に比べて広大な都市域を有し、かつ



細長い開発区域であるため、新都市を有機的な1つの都市として形成させるため、その基本的骨格となる都市空間が設定された。この空間が「都市軸」であり、都市の中央部を南北に縦貫する幹線歩行者専用道路（つくば公園通り）とこれに接続する広場、公園および近接して設けられる都市の中心的施設を含む、ある幅を持った線状のゾーン（アーバンコンプレックス）である（図-2）。

2. 公園緑地の計画基本方針

公園緑地計画の基本方針は、① 既存樹林、樹木を可能な限り保全し、公園の施設として利用する、② 郷土樹種を優先的に使用し、地域の自然環境に調和するよう配慮する、③ 現状の地形をできる限り生かし、表土の保全を図ることとし、以上3点に主眼を置くとともに、

*住宅・都市整備公団 首都圏都市開発本部 事業第一部 工事課

表-1 筑波研究学園都市における歩行者専用道路、公園緑地
(単位: m²)

		歩行者専用道路	広場	公園・緑地	
都市軸	幅員 10m	1,528	5個所 16,850	総合公園 (地区公園) 2個所	283,707
	12	340		近隣公園 5個所	147,143
	16	1,721			
	17	100			
	19	55			
	20	928			
	21	59			
	小計	4,731		小計 7個所 430,850	
住区軸	幅員 2m	718	5個所 12,854	近隣公園 14個所	313,567
	4	23,549		児童公園 49個所	208,339
	6	2,756		緑地 13個所	39,154
	8	12,170			
	9	148			
	10	1,147			
	12	129			
	13	447			
	20	1,184			
	その他	939			
	小計	43,250		小計 76個所 561,060	
計		47,981	10個所 29,704	83個所	991,910

研究・教育施設および住宅地の緑等と合わせて面的な緑の核となるよう計画する。

また、公園の規模は総合公園2個所、近隣公園19個所、児童公園49個所であり、各公園について次のように基本方針を定めている。

1) 総合公園

洞峰公園 (20ha) および赤塚公園 (8.5ha) は幹線歩行者専用道路(つくば公園通り、幅員20m、延長約1km)で結びつけることにより、一体的総合公園として機能するよう計画する。

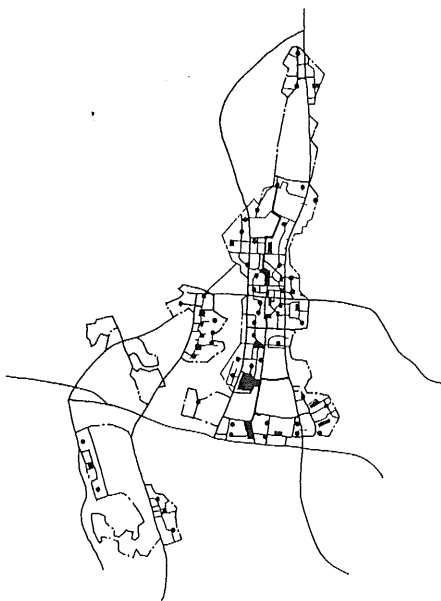


図-3 オープンスペースシステム

2) 都心部の近隣公園

南北約2.5kmにわたる中心市街地の幹線歩行者専用道路沿いに位置する4つの近隣公園については、各公園が近隣公園的要素を残しながらも、むしろより広域的な視点にたち新都市のもつ性格を象徴し、かつ各々が機能分担しつつ、補完的に新都市の中央公園(合計面積約11ha)を構成するよう計画する。

3) 住宅地の近隣公園

住宅地の近隣公園は、運動施設に対する需要などを想定したうえ、その置かれた住区の土地利用および敷地特性を加味して、その性格を次の4つに分類し計画の前提とする。

- ①スポーツ、レクリエーションを主とした公園
- ②修景的要素を主とした公園
- ③一般的な公園
- ④特殊目的を持った公園

以上により各公園を特徴づけるとともに、これらの近隣公園は、児童公園とともに面的なオープンスペースとして、歩行者専用道路の線的なオープンスペースに連続的に結ばれ、ネットワークを形成する(図-3、表-1)。

3. 公園緑地の舗装計画

舗装計画に際しては、単に歩行機能を満たすにとどまらず、公園全体の景観を構成する1つの要素としてとらえ、周辺環境に調和し、かつ利用者に対しても快適な空間を提供できるよう計画する。

実際のランドスケープ計画において、一般的に舗装計画は図-4のようなフローの中に位置づけられる。

また、最近外部空間を形成する様々な舗装材が使用されているが、表層材料の選定に当たっての留意点は図-5のとおりである。

以上の観点に立ち、つくば研究学園都市の公園におい

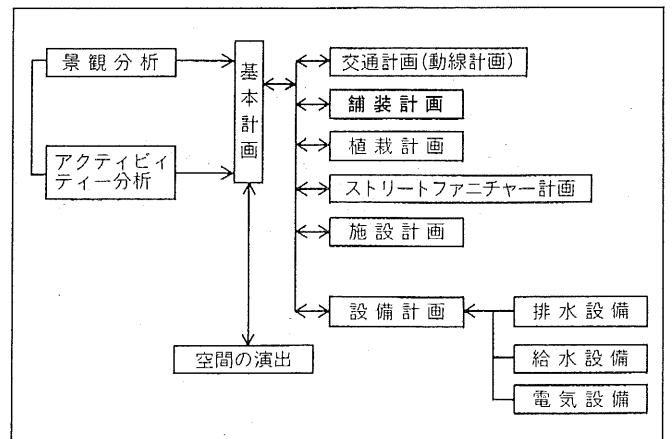


図-4 ランドスケープ計画のフロー

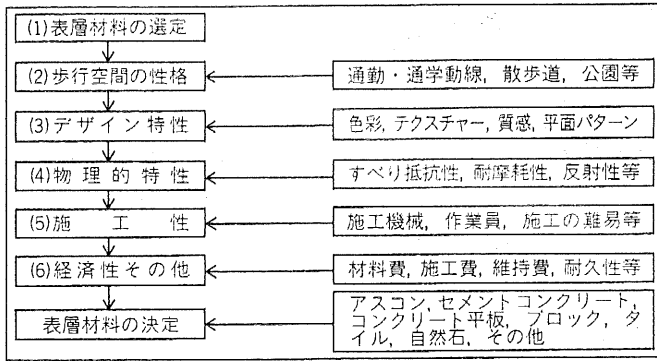


図-5 表層材料の選定フロー



写真-2 石張り舗装 (洞峰公園)

て展開された事例を幾つか紹介したい。

1) 総合公園

——洞峰公園および赤塚公園の事例——

両公園は幹線歩行者専用道路(つくば公園通り)によりつながれており、赤塚公園が植物の観賞散歩、憩いなど静的レクリエーションの場として性格づけを行う一方、洞峰公園は面的な広がりを生かしたスポーツレクリエーションを主体とする動的な公園として性格づけ、両公園が相互補完関係の中で一体となって総合公園機能をもつよう意図された。

主な舗装としては次のようなものがある。



写真-1 カラーアスコン舗装 (洞峰公園)

① カラーアスファルト舗装

洞峰公園内を回遊する幹線歩行動線は、「歩く」という単一機能のみならず、ジョギング等の軽スポーツ等にも利用されており、利用者がスポーツを楽しみ、憩う場として明るく広がりのある本公園の基調となる舗装である(写真-1)。

② 石張り舗装 (小舗石舗装)

公園の景観構成の主軸となる、西大通りから筑波新都市記念館(レストハウス)に向かうプロムナードは、石張り舗装により空間の象徴性を高めている(図-6, 写真-2)。

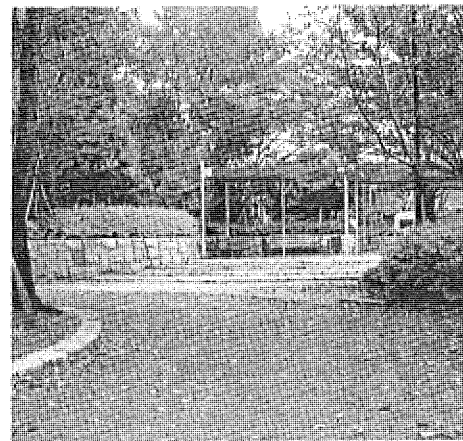


写真-3 石灰岩ダスト舗装 (赤塚公園)

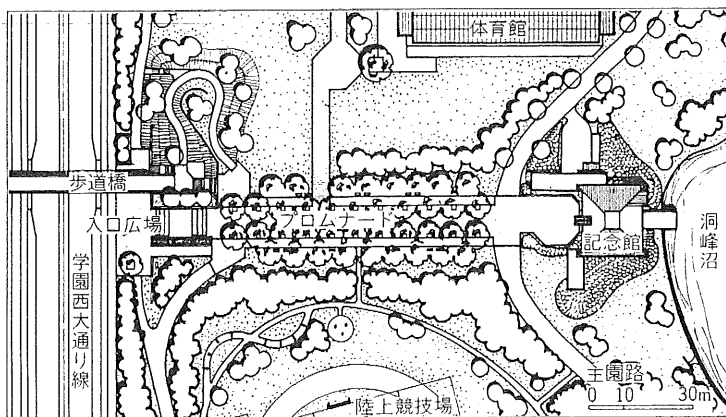


図-6 洞峰公園プロムナード周り



図-7 赤塚公園池周り

③ 木レンガ舗装

公園内に数箇所設置したレンガ造りの四阿を中心とした休憩広場は、あまり歩きやすさが要求されず、むしろ本舗装のように落ち着き、やすらぎ等を利用者に与えるような舗装仕上げが必要である。

④ 石灰岩ダスト舗装

赤塚公園(図-7)は静的レクリエーションの場として、主園路は主として散策路として利用されるため、あえてハードな舗装とせず、むしろクッション性、感触等にすぐれている土系舗装を採用した(写真-3)。

2) 都心部の近隣公園

——大清水公園(図-8)の事例——

都心部の公園として、明るく都会的な構成を意図し、

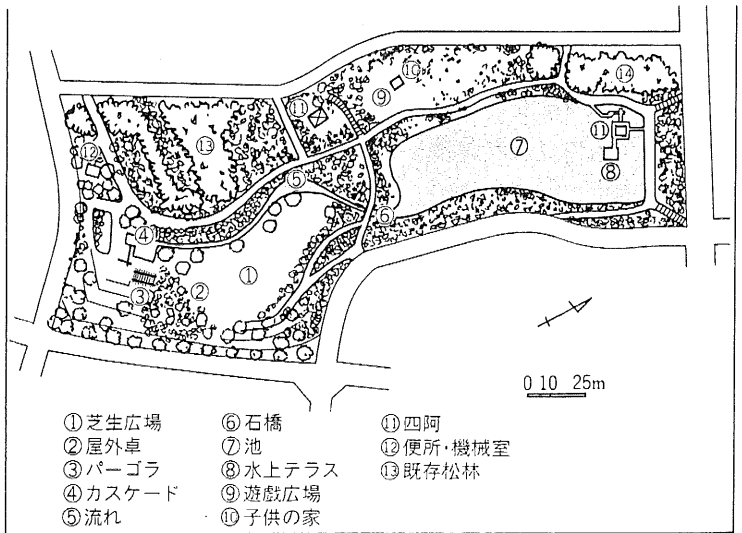


図-9 並木公園

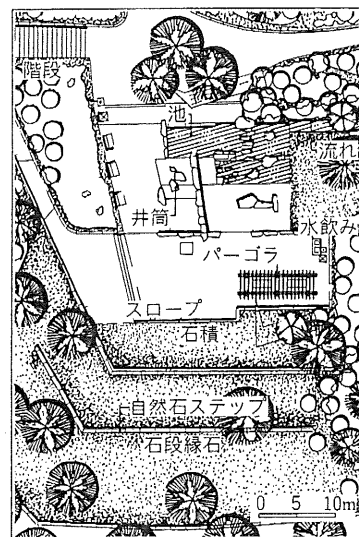


図-10 並木公園カスケード周り

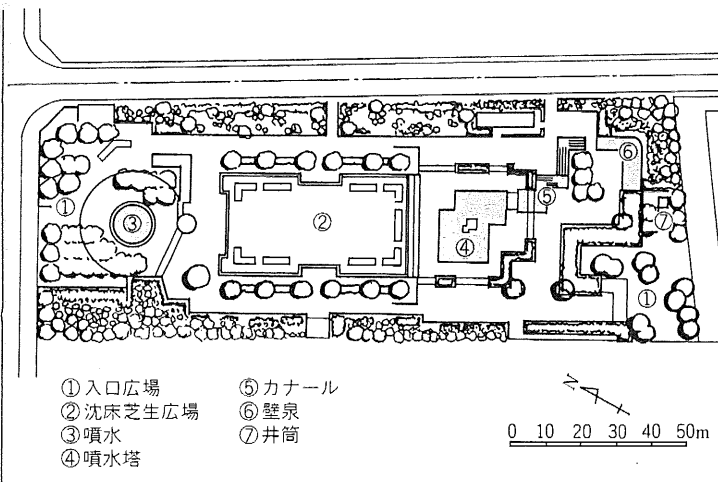


図-8 大清水公園

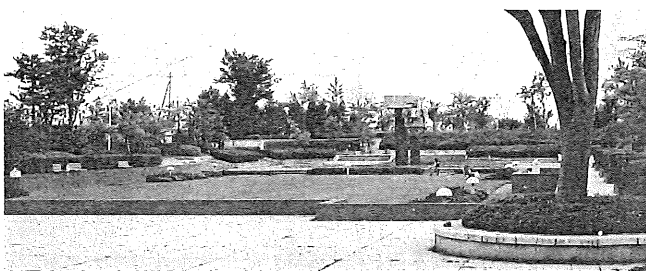


写真-4 人研平板舗装(大清水公園)



写真-5 石張り舗装(並木公園)

「噴水のある公園」として親しまれている。カナール、カスケード等のダイナミックな水景施設と対応した広場には、各種の舗装材が用いられ、全体としてアーバンティニーに富んだデザイン構成となっている。

① 人研平板舗装

芝生広場等の緑とコントラストをなす白色系人研平板舗装は、入口広場や園路に使用され、本公園の基調色となっている(写真-4)。

② レンガ舗装

サブ広場に設置した円形の噴水池の周りには、やはり

中心円状のレンガ舗装が施され、トチノキの天蓋状植栽と一体化し、公園にアイデンティティを与えている。

3) 住宅地の近隣公園

——並木公園(図-9)の事例——

本公園は新都市の郊外住宅地区の1つである並木地区に位置し、敷地特性(谷地田地形)を活用して修景的要素を主とした公園である。設計に際し、極力現況地形および植生を生かし、自然らしさが演出できる公園創りを目指すこととした。主な施設は、既存の谷地田地形を修

景池とし、また水質保持の手段として自然石を配した「流れ」を設けた。舗装計画においても、公園の性格づけから自然風景になじむものが選定された。

① 荒木田豆砂利舗装

公園内の主要施設が、自然石や丸太材の修景護岸、および自然石積みなど、自然素材がデザインモチーフとなっており、園路舗装についても全体のストーリーの中

で土系の舗装を使用した。

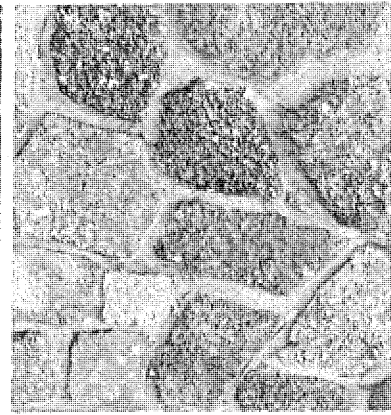
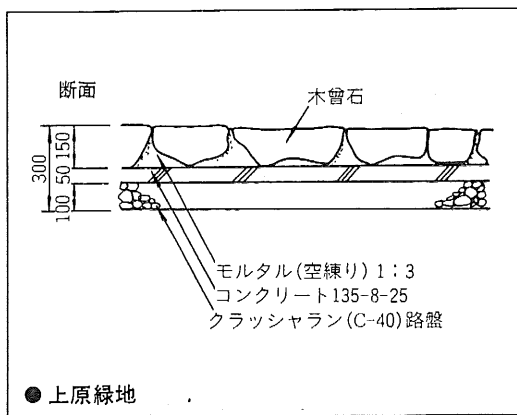
② 石張り舗装（多種混合）

流れ上流部のカスケード（水の吐出口）は自然石で造形されており、広場となっている。床面に使用された本舗装は、自然石と景観的に調和し、様々な石材の組合せによるデザインパターンが楽しく、広場のアメニティを高めている（図-10、写真-5）。

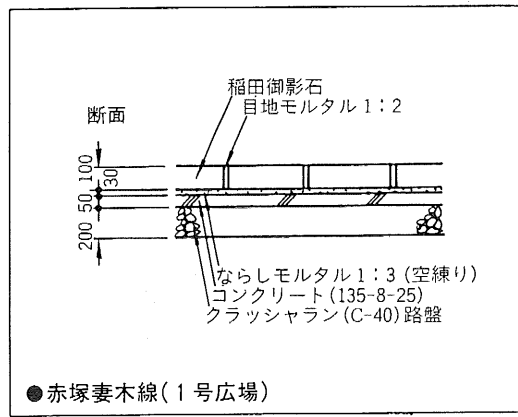
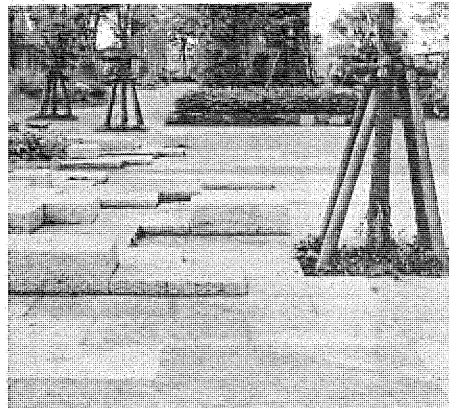
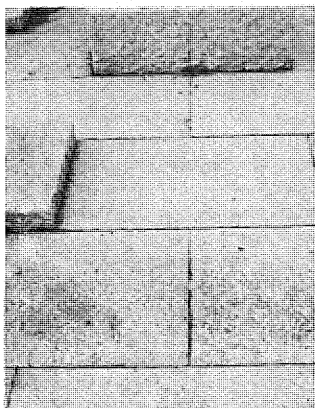
4. 筑波研究学園都市の公園舗装一覧（一部歩行者専用道路を含む）

(1) 石材系

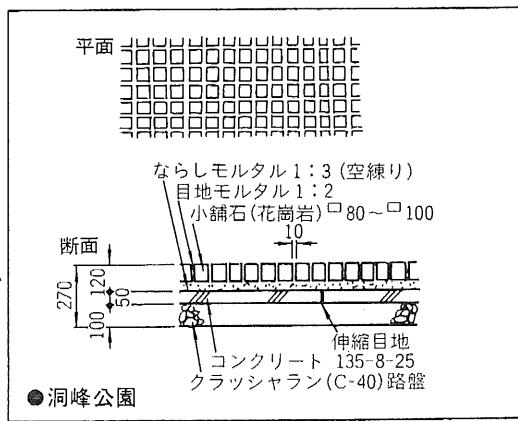
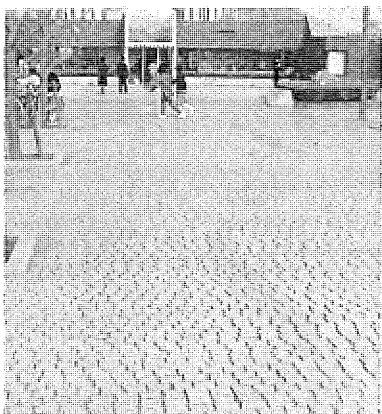
石張り舗装(自然石)



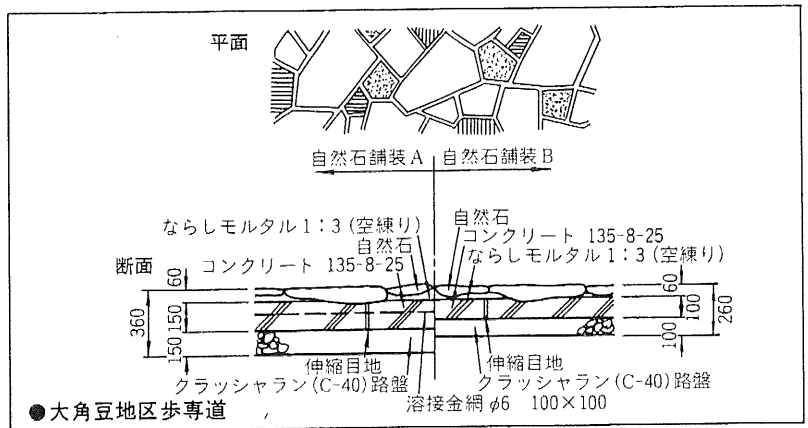
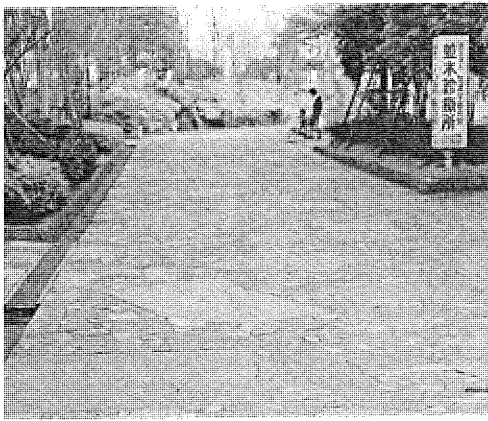
自然石舗装(御影切石)



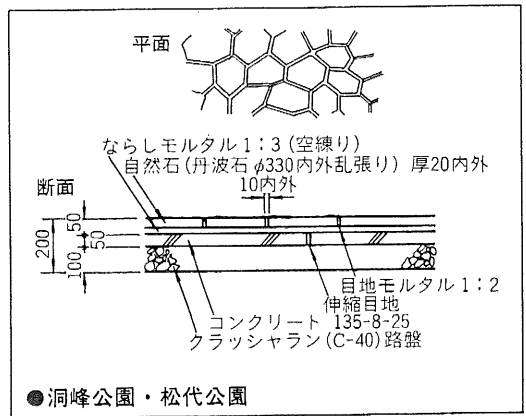
小舗石舗装



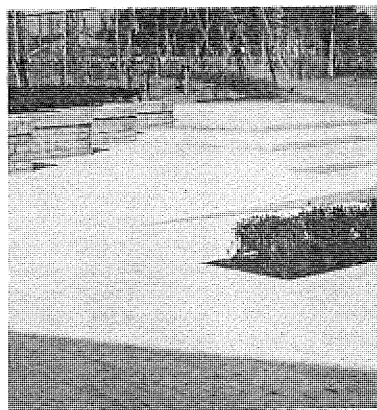
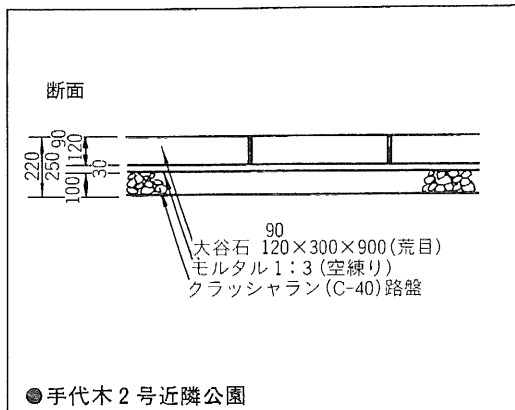
石張り舗装(多種混合)



石張り舗装(鉄平石,丹波石)

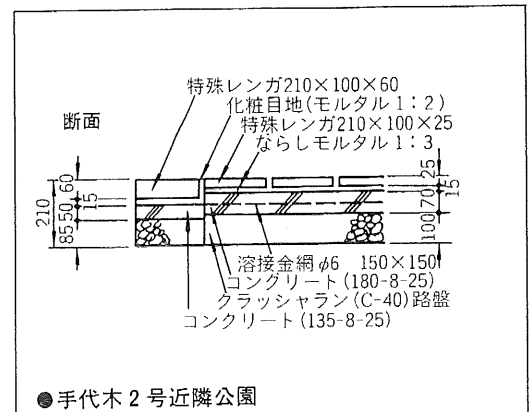
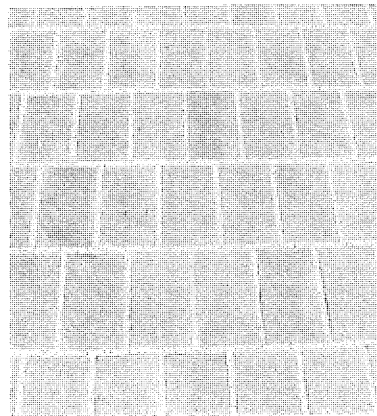
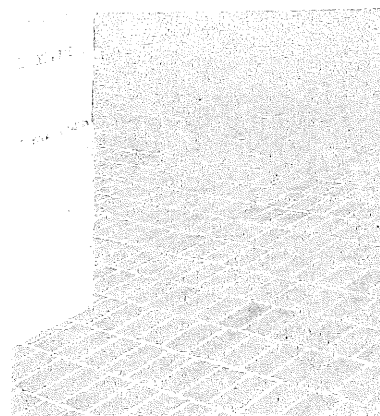


石張り舗装(大谷石)

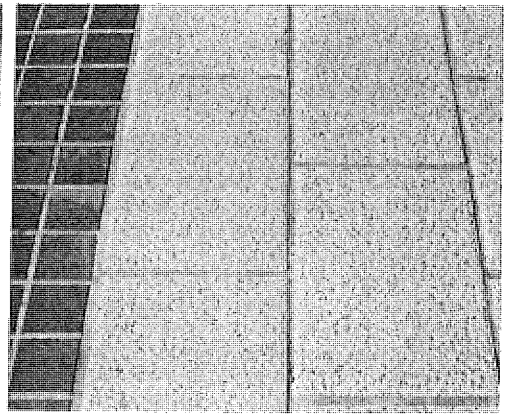
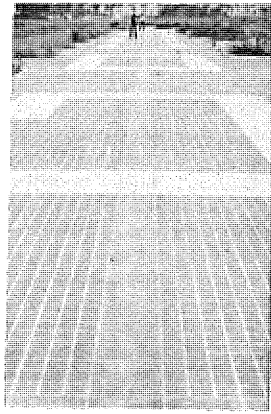
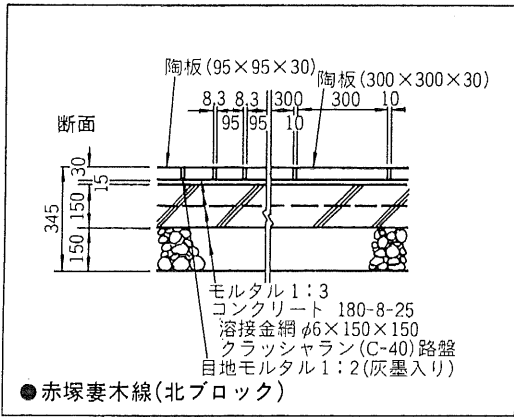


(2) タイル系

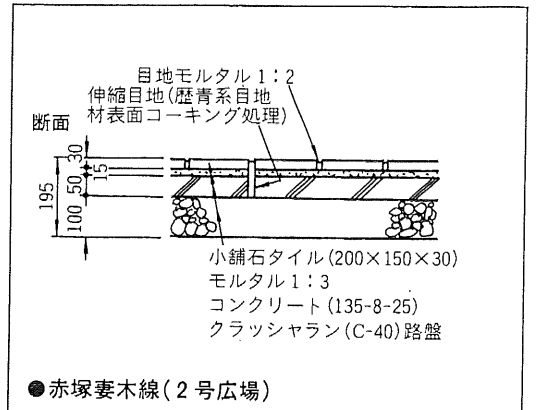
レンガタイル舗装



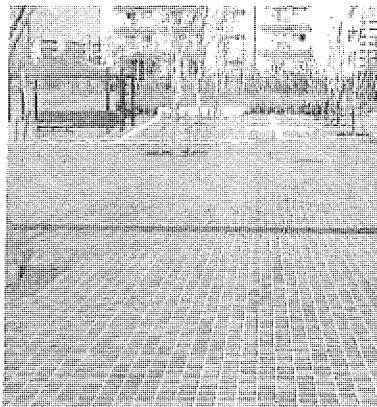
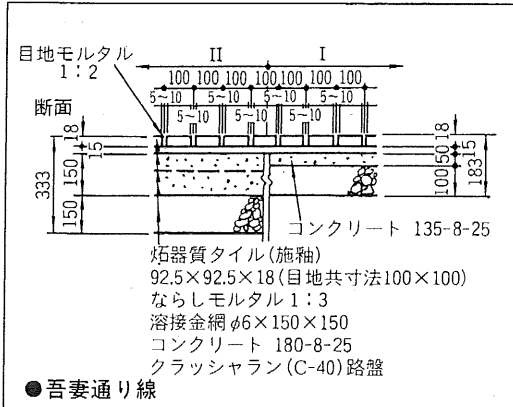
陶板タイル舗装



小舗石タイル舗装

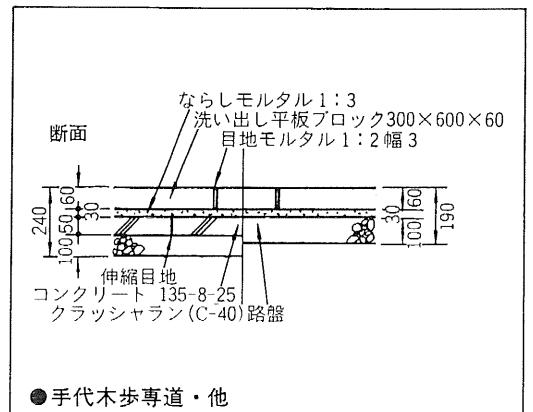
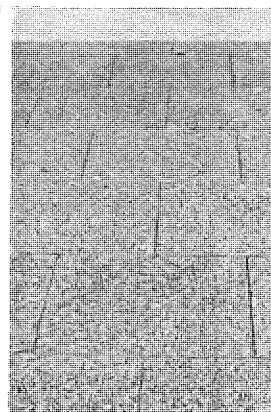
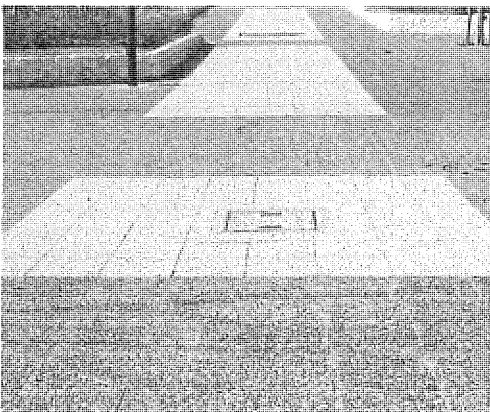


珧器質タイル舗装

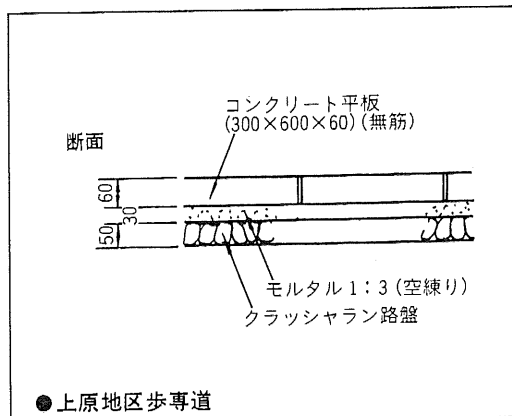
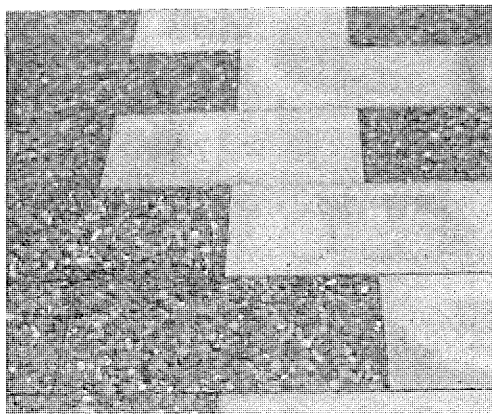


(3) ブロック系

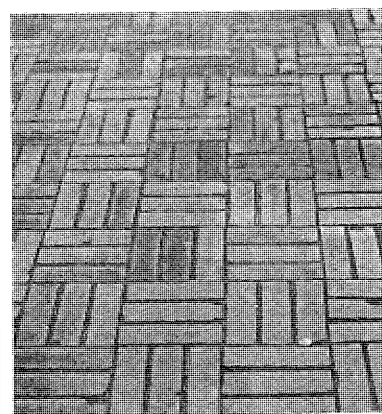
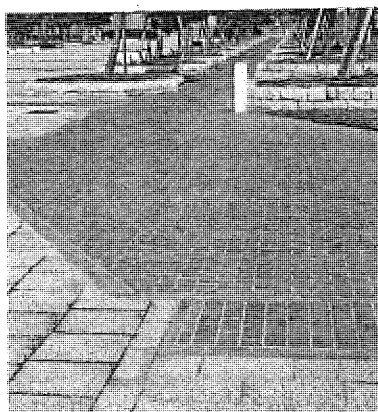
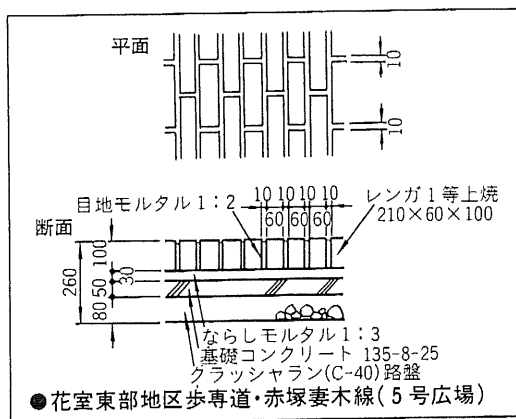
洗い出し平板舗装



コンクリート平板舗装

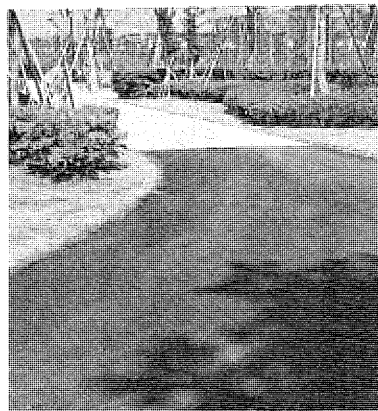
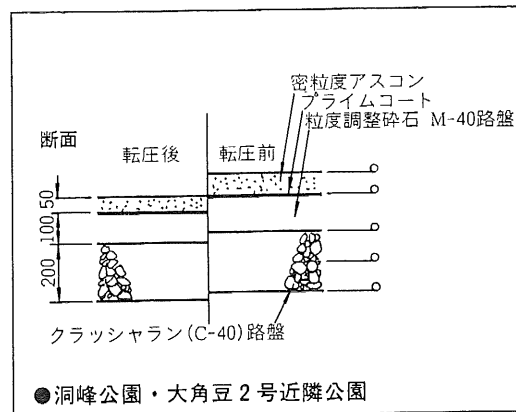


レンガ舗装



(4) アスファルト系

カラーアスファルト舗装



(5) コンクリート系

砂利洗い出し舗装(黒光砂利)

